書式第１２号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

2019　年度　　事　業　報　告　書

特定非営利活動法人　　胃癌を撲滅する会

１　事業の成果

本年度は JICA 草の根協力事業に採択され、胃癌撲滅のための事業をブータンで開始した。ブータン医科大学、JDWNR 病院、保健省、との共同事業としてパロ県ダワカ地区にてピロリ菌と胃癌リスク検診（ペプシノーゲンテスト）を 1130 人の住民に行った。事業開始の様子はテレビや新聞にも報道され, JICS、テルモ、風に立つライオン基金からも事業への助成を得た。検診の結果は７割近い住民のピロリ菌への感染が認められ、胃癌リスク群には内視鏡検査を奨励、ピロリ菌陽性者には除菌を推奨する予定である。同時に２月８月にはブータン人医師への早期胃癌発見のための実地教育も行い、成果を得た。

２　事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業　　（事業費の総費用【　9006　】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費（千円）
ピロリ菌、胃癌に関する調査研究事業	ブータンダワカ地区にて12歳以上の住民1130人のピロリ菌およびペプシノーゲン検査を行った。	2019　年12　月５日－１１日	ブータン・パロ県ドガル区	30 名	パロ県ドガル区 12 歳以上の住民	2283 人	4058
ピロリ菌、胃癌に関する教育研修事業	１）ブータンテインプーのJDWNR 病院にて早期胃癌発見のための内視鏡実技研修を行った。 ２）ブータン王立疾患研究所においてピロリ菌およびペプシノーゲン検査の方法を教授 ３）早期胃癌の病診組織診断能を向上するe-learning の開発と有用性の検証	１）2019年２月、８月 ２）2019年 12 月 ３）通年	１、２）ブータンテインプー ３）福岡	１）５名 ２）５名 ３）５名	１）ブータン人医師看護師 ２）検査技師 ３）世界の病理医	1）８名 2）10 名 3）消化管病理医（数千人）	3816
ピロリ菌、胃癌に関する広報啓発事業	-ゾンカ語、英語によるピロリ菌検診の必要性と現場をドキュメントした動画を作成しSNS にて配信。 -インターネットを使ったピロリ菌胃癌の教育ビデオの無料配信	2019　年通年	ブータン全世界	10 名	ブータン国民全世界の医療関係者	75　万人（ブータン）数万人	566
ピロリ菌、胃癌に関する学術団体との連絡、及び提携事業	ブータン医科大学、および王立疾患研究所との連携によりピロリ菌測定技術を伝授した。	2019 年１２月～ 2020 年２月	ブータン	20 名	ブータン人検査技師	20 名	531
ホームページの運営事業	当団体の活動報告と教育ビデオの配信をホームページ及び SNS 配信を行った。	通年	東京、福岡、大分、ウィーン	10 名	インターネット受信可能で英語を理解する世界全人	数千人	35